



今月の題字
ひさのり
小豆嶋寿知君
(織笠小1年)

田町のわだい

北浜町出身 澤田薫さんがオペラを披露 美しい歌声で観衆を魅了

2月3日、オペラ名曲コンサートが町中央公民館大ホールで開かれました。やまだまち女性セミナーの閉講式を兼ねて開かれた同コンサートには、北浜町出身で東京都在住のテノール歌手・澤田薫さん(右)とソプラノ歌手の岩本真美さん(広島県出身)、ピアノ伴奏として石川和男さん(福島県出身)が出演。オペラ「愛の妙薬」やオペレッタ「メリーウィドウのワルツ」の一場面を披露し、美しい歌声で観衆を魅了しました。里帰りコンサートを終えた澤田さんは「地元の方々と一体感が生まれ、素晴らしいコンサートになった」と笑顔で話していました。



エス研工を誘致工場に認定 今後一層の企業努力を誓う

有限会社エス研工(佐藤久人代表取締役)＝織笠＝が町の誘致工場に認定され、町と工場立地協定、環境保全協定を締結しました。町では、町内に工場を新設・増設する場合に一定の基準を満たしたものを誘致工場に認定し、固定資産税の減免など優遇措置をとっており、エス研工は13番目の認定となります。協定書調印・認定式は2月15日に役場特別応接室で行われ、佐藤代表取締役が出席。沼崎喜一町長が「これを契機にさらに雇用増のために頑張ってください」とあいさつし、認定書を手渡しました。これに対し佐藤代表取締役は「今後一層企業努力をして規模の拡大に努めたい」と述べました。



第21回現代学生百人一首 山田高の阿部さんが入選

東洋大学(松尾友矩学長)が募集した第21回現代学生百人一首に、山田高校2年の阿部千恵子さん＝田の浜＝の作品が入選しました。同百人一首は現代の若者の「ものの見方や生活感覚」をテーマとした短歌のコンクールで、全国の小学生から大学生までが対象。今回は60,735首の応募があり、本県からは阿部さんを含む高校生2人が選ばれました。阿部さんは「何万首の中からわたしの作品が選ばれたと思うと驚きですが、とてもうれしいです」と喜びを話してくれました。

青みかんまだすっぱくて食べれない
いつかは熱せ私の心 阿部 千恵子

町内3団体に資機材を交付 自主防災活動の向上を図る

町内の自治会や自主防災組織などに町から防災資機材が交付されました。町が実施する自主防災組織育成事業の一環として防災活動の向上を目的に行われているもので、交付を受けたのは山田中地区自主防災会、山田南地区実行委員会、田の浜地区自治会の3団体。交付式は2月4日、役場3階大ホールで行われ、沼崎喜一町長から各団体の代表者に交付書が手渡されました。交付された資機材はハンド型メガホン、ヘルメット、折り畳み式リヤカーなどで、今後各地区の防災活動で活用されます。



豊間根中学生徒から温かい善意 車いす3台を町に寄贈

1月30日、豊間根中学校生徒会の執行部6人が役場を訪れ、文化祭でのバザーやリサイクル資源回収活動の益金で購入した車いす3台を町に寄贈しました。贈呈式では生徒会長の卯名根口東君(3年)が「わたしたちの思いが詰まったこの車いすを大切に使うってください」とあいさつし、沼崎喜一町長に車いすを引き渡しました。沼崎町長は「これまでの素晴らしい伝統を途切れさせることなく、後輩に引き継いでほしい」とお礼を述べました。車いすは山田町社会福祉協議会を通じて、体の不自由な方に貸し出されます。

親子読書フォーラムに100人 読み聞かせの大切さを学ぶ

2月16日、山田町教育振興運動推進委員会(馬場善也会長)が主催する親子読書フォーラムが開かれました。会場となった町中央公民館には100人が出席。読書ボランティア「だいちゃん文庫」代表の佐々木博美さん(仙台市)が「こどもと本のふれあいを求めて」と題し、ダウン症の子供を持つ佐々木さんの子育て体験を中心に講演が行われました。佐々木さんは「子供に絵本を読んであげた思い出は、親にとって大切な宝物になります。一方子供たちにとっては、成長とともに記憶は薄れても、本を読んでくれた人の愛情は心の中に染み付いているものなんです」と話し、来場者は子供に本を読み聞かせしてあげる大切さを学んでいました。



講師を務めた佐々木博美さん(丸写真)／絵本を紹介しながら講演が行われました